

失くしたものをこんなにあわせると思わなかった。
でも何を、何を失くしたんだっけ――。

MOOSIC LAB 2018
準グランプリ・男優賞(青木柚)

第20回全州国際映画祭
ワールドシネマスケープ部門
正式出品作品

中尾有伽 青木柚 越後はる香

若杉風 加藤才紀子 小泉紗希 新井秀幸 折笠慎也

卯ノ原圭吾 石本径代 菅原健介 / 水橋研二

監督・脚本・編集・阿部はりひら | 音楽・LOWPOINT | 撮影・平見優子 | 助監督・宮沼松英 | 制作担当・伊藤希紗
照明・山口輝寛 | 録音・徳井隆 | 五十嵐史 | 衣裳・徳井隆 | ヘアメイク・田村友香里 | スタイル・飯田エリカ
企画・直井卓俊 | アソシエイト・プロデューサー・前原介 | 配給・宣伝・SPOTTED PRODUCTIONS | 宣伝協力・MAP
2018 | 日本 | カラー | 1080 | 16:9 | 75min

あん

[ぎょうあん]

日音





何に対しても無気力な少年・コウ（青木柚）、学校が終わると見知らぬ男たちとつかの間の関係を持っているユウカ（中尾有伽）、不器用にすれ違う両親の狭間で行き場のない悲しさを抱えるサキ（越後はる香）。誰ともつながらない寂しさと疎外感を抱えながら、ふとしたきっかけで音楽を通じて出会いを果たした3人。中学生最後の夏休み、都会の片隅にある廃ビルの屋上集っては、足りない何かを埋めるように、届かない何かを求めるように、静かに魂を重ね合わせてゆく……。

音楽を通じて出会った、幸福も不幸も知らない少年少女たちの、不器用で、空虚で、美しい夏の記憶——。

MOOSIC LAB 2018 準グランプリ、韓国・全州国際映画祭で熱狂!

新星・阿部はりか監督と若き才能たちが生み出した、静かで孤独な青春映画の傑作!

友情でも恋愛でもなく、ただ互いの孤独を共有しあう少年少女たちの青春劇。その透明な関係性を瑞々しく描きだすのは、これが初の監督作となる新星・阿部はりか。本作は、インターネットを通してカルト的な人気を誇るLOWPOPLTD.の音楽からインスパイアを受け、制作された。10代の繊細な心情を見事に演じきったのは、期待の新人俳優、青木柚（『アイスと雨音』）、越後はる香（『明日にかける橋』）、中尾有伽（『クレイジーアイランド』）。また『少女邂逅』を手がけた平見優子による撮影が、闇を照らすひとすじの光のように、陰鬱さのなかに幻想的な風景をつくりだす。MOOSIC LAB 2018 長編部門にて準グランプリ・男優賞（青木柚）を受賞し、韓国の全州国際映画祭でもインディーズ映画ながら堂々の招待上映を果たした。



この映画を見ている間、同じ諦めを生きていたことがあると思った、同じ涙を流したことがあると思った。それが思い込みだったとしても、I was you. —— 私はあなただった。そう思えるようなものに出会うとき、せつかく同じ血の色だもの、ずっとこれが乾かない同士でいられたらいいのにな。と、思う。泣くほどじゃない痛みでも、ずっと、ずっと痛いままだったら、いつか涙くらい出るんじゃないか。涙が溢れたら、ここにいた証明になるかもしれない。

——戸田真琴（女優）

7.20 オリジナルステッカー付き特別鑑賞券
¥1200（当日一般¥1500のところ）好評発売中!
土よりレイトショー!



渋谷・文化村前交差点左折
ユーロスペース
EUROSPACE
tel.03-3461-0211 www.eurospace.co.jp